

1. 科目名（単位数）	児童福祉特論（2単位）	池袋	3. 科目番号	SSMP5316
2. 授業担当教員	上田 征三			
4. 授業形態	講義および文献講読、討論、フィールドワーク		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	急速に進む少子高齢社会に対応した児童や家庭に対する支援と今後の児童・家庭福祉のあり方について、児童家庭福祉の原理、理念、権利保障、児童家庭福祉にかかわる法制度、福祉・保健施策、児童家庭への援助活動などを体系的に学習する。特に、児童家庭福祉にかかわる施策分野については、実際の現場に赴き聞き取り、アンケート調査などを行う。地域や社会と関係した視点から児童家庭福祉の問題が把握できるようにする。			
8. 学習目標	1. 児童家庭福祉の理念について説明することができる。 2. 児童家庭福祉の現状と課題について解説することができる。 3. 児童虐待およびDVについて説明することができる。 4. 母子保健と児童の健全育成について、解説することができる。 5. 社会的養護について理解し、解説することができる。 6. 新たな児童家庭福祉の再構築について考えを述べることができる。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	宿題： 1) 少子化対策の経緯について時系列で整理する。 2) 訪問施設の概要についてまとめる。 レポート課題： 1) 授業ごとの課題（毎回） 2) 施設調査を基に実態と機能についてまとめる。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】上田征三・岡本明博『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 【参考書】一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉』中央法規出版、2021年。 上田征三『実践研究や事例から学ぶ 社会的養護Ⅱ』大学図書出版、2018。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業への積極的な参加(発表とディスカッションなど)と宿題、レポート及び施設調査で評価する。 ○評定の方法 (通学課程) 宿題、レポート・・・ 60％ 施設調査・・・・・・・・ 30％ 受講態度・・・・・・・・ 10％			
12. 受講生へのメッセージ	大学院においては、院生一人ひとりの学習に沿いながら、討論を通じて問題を理解し、深めるので、学生の問題意識が重要である。			
13. オフィスアワー	授業時に周知する。			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1. テーマ	オリエンテーション			
【学習の目標】	児童福祉、児童家庭福祉の概論について説明することができる。			
【学習の内容】	1) 児童福祉、児童家庭福祉の概論を学ぶ。 2) 学習の進め方について理解する。			
【キーワード】	児童福祉、児童家庭福祉			
【学習上の課題】	少子高齢社会を理解するための具体的資料やデータをどのように入手するか解説しなさい。			
【参考文献】	PP 資料			
【学習する上での留意点】	児童家庭福祉に関する現状を具体的資料やデータから理解するようにすること。			
2. テーマ	児童家庭福祉の概要			
【学習の目標】	児童福祉、児童家庭福祉の理念について説明することができる。			
【学習の内容】	1) 現代社会と児童の生活の変化について学ぶ。 2) 社会的養護の定義と基本的理念について学ぶ。 3) 「児童虐待」を防ぐための児童理解と児童の権利について学ぶ。 4) 社会的養護の今後の課題について学ぶ。			
【キーワード】	児童福祉、児童家庭福祉 社会的養護			
【学習上の課題】	児童家庭福祉の理念における到達点について説明しなさい。(800字)			
【参考文献】	1) 上田征三・岡本明博「現代社会と社会的養護の意義」（第1章）『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 上田征三『実践研究や事例から学ぶ 社会的養護Ⅱ』大学図書出版、2018。			
【学習する上での留意点】	児童福祉・児童家庭福祉、社会的養護の歴史の変遷について理解を深めること。			
3. テーマ	児童家庭福祉と社会的養護の歴史の変遷			
【学習の目標】	児童福祉から児童家庭福祉への変遷について説明することができる。			
【学習の内容】	1) 諸外国における児童福祉の歴史を学ぶ。 2) 我が国の児童福祉や戦前と戦後との違いについて、理解を深める。			
【キーワード】	児童救済、児童家庭福祉			

【学習の課題】 日本の戦後の児童福祉の変遷について述べなさい。(800字) 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「社会的養護の歴史の変遷」(第2章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 駒崎道「児童福祉法制定過程における行政統合と対象範囲拡大の議論」『社会福祉学』日本社会福祉学会、vol.53(4) 2013。 【学習する上での留意点】 諸外国の児童福祉とわが国の児童福祉を比較してみること。	
4. テーマ	家庭の果たす機能と社会的養護
【学習の目標】 児童福祉と児童家庭福祉の違いについて説明することができる。 【学習の内容】 児童家庭福祉の理解を深める。 【キーワード】 児童家庭福祉、児童の現代化 【学習の課題】 家庭機能とその役割について述べなさい。(800字) 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「家庭の果たす機能と社会的養護」(第3章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) ボーター倫子・田邊圭子「現在の育児雑誌における授乳と食事に関する専門家の助言の内容分析」『保育学研究』日本保育学会、第59巻第1号、2021。 【学習する上での留意点】 児童福祉から児童家庭福祉になった理由を理解すること。	
5. テーマ	児童の権利擁護
【学習の目標】 児童の権利について説明することができる。 【学習の内容】 児童の意見表明権などの能動的権利についてについて学ぶ。 【キーワード】 児童、児童家庭福祉、能動的権利 【学習の課題】 児童の権利に関する条約について述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「児童の権利擁護」(第4章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019 2) 厚生労働省『厚生労働白書(2022年版)』 【学習する上での留意点】 児童の権利に関する条約について理解を深めること。	
6. テーマ	社会的養護とは、社会的養護の制度と法体系、領域と実施体系
【学習の目標】 児童の社会的養護について説明することができる。 【学習の内容】 施設養護と家庭的養護について学ぶ。 【キーワード】 児童、社会的養護、家庭 【学習の課題】 社会的養護の仕組みについてまとめよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「社会養護の制度と法体系」(第5章)「社会養護の領域と実施体系」(第6章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 厚生労働省『厚生労働白書(2022年版)』 【学習する上での留意点】 家庭的養護と家庭養護の違いを図や表にして理解を深めること。	
7. テーマ	家庭養護と施設養護(里親制度)
【学習の目標】 家庭養護と施設養護について説明することができる。 【学習の内容】 里親制度の現状と課題について学ぶ。 【キーワード】 家庭養護 里親制度 【学習の課題】 里親制度(家庭養護)について述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「家庭養護と施設養護」(第7章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 里親支援機関事業資料(東京都) 【学習する上での留意点】 里親の区分についてまとめておくこと。	
8. テーマ	社会的養護の専門職
【学習の目標】 児童家庭福祉に関わる専門職について説明することができる。 【学習の内容】 社会的養護の専門職について学ぶ。 【キーワード】 専門職の専門性 社会的養護の専門性 【学習の課題】 社会的養護に関わる専門職について述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「社会的養護の専門職」(第8章)『子ども支援の基礎から学ぶ 社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 日本発達障害福祉連盟『日本発達障害白書2022年版』 【学習する上での留意点】 社会的養護ではどのような専門職がどこに配置されているかまとめること。	
9. テーマ	事例：①「緊急一時保護」 ②「里子の通称問題」 ③「夫婦ゲンカは『子ども虐待?』」
【学習の目標】 事例に関して「児童の最善の利益」が何であるか説明することができる。 【学習の内容】 「児童の最善の利益」に関して専門家がどのように関わるべき化について学ぶ。 【キーワード】 緊急一時保護 里子の通称問題 児童に関する心理的虐待 【学習の課題】 「夫婦ゲンカは『子ども虐待?』」についてあなたの考えを述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三編著『実践研究や事例から学ぶ社会的養護Ⅱ』大学図書出版、2018。 2) 日本発達障害福祉連盟『日本発達障害白書2022年版』 【学習する上での留意点】 「子どもの最善の利益」についてまとめておくこと。	
10. テーマ	障がい児教育と福祉
【学習の目標】 国際障害分類と国際生活機能分類について説明することができる。	

	【学習の内容】 障がい児のとらえ方とノーマライゼーションについて学ぶ。 【キーワード】 障がい児、障がい児福祉 【学習の課題】 「障がい」の法的定義について学ぶ。 【参考文献】 1) 上田征三他編著『よくわかる障害児教育（第4版）』ミネルヴァ書房、2020。p.2-4 2) 日本発達障害福祉連盟『日本発達障害白書 2022 年版』 【学習する上での留意点】 「障害者基本法」における「障害」の定義についてまとめておくこと。
11. テーマ	児童相談所と施設養護の実際
	【学習の目標】 児童相談所や社会的養護の役割について説明することができる。 【学習の内容】 児童相談所の役割と地方自治体、児童福祉施設等の連携について学ぶ。 【キーワード】 児童相談所 施設養護の理念 【学習の課題】 児童相談所の機能について述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「児童相談所と施設養護の基本的理念」（第9章）（10章）『子ども支援の基礎から学ぶ社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 伊藤俊明『子ども虐待による死亡と児童相談所に関する研究』東日本国際大学福祉環境学部研究紀要 第11巻第1号、1-12 【学習する上での留意点】 児童福祉行政について整理しておくこと。
12. テーマ	児童家庭福祉とソーシャルワーク
	【学習の目標】 社会的養護におけるソーシャルワークの役割を説明することができる。 【学習の内容】 社会的養護と自立支援におけるソーシャルワークについて学ぶ。 【キーワード】 ソーシャルワーク ソーシャルワークのプロセス ソーシャルワークの視点 【学習の課題】 ソーシャルワークの4つの視点について述べよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「社会的養護と自立支援における ソーシャルワーク」（第11章）『子ども支援の基礎から学ぶ社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 上田征三『実践研究や事例から学ぶ 社会的養護Ⅱ』大学図書出版、2018。 【学習する上での留意点】 社会的養護における自立に向けた支援内容について理解しておくこと。
13. テーマ	倫理の確立
	【学習の目標】 専門職の倫理（倫理綱領）について理解を深め、解説することができる。 【学習の内容】 専門職の倫理（倫理綱領）と各施設の運営指針について学ぶ。 【キーワード】 倫理綱領 各施設の運営指針 【学習の課題】 社会福祉専門職の倫理的ジレンマについて説明せよ。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「倫理の確立」（第13章）『子ども支援の基礎から学ぶ社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 上田征三『実践研究や事例から学ぶ 社会的養護Ⅱ』大学図書出版、2018。 【学習する上での留意点】 主な専門職の倫理綱領についてまとめておくこと。
14. テーマ	被措置児童等の虐待防止の現状と課題
	【学習の目標】 子ども虐待に関する行政の仕組みについて説明することができる。 【学習の内容】 児童虐待の現状と課題について学ぶ。 【キーワード】 児童虐待要因、現状、予防 【学習の課題】 児童福祉施設や里親における児童虐待の予防に関するあなたの意見を述べなさい。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「被措置児童等の虐待防止の現状と課題」（第14章）『子ども支援の基礎から学ぶ社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 厚生労働省『子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第17次報告）』令和3年8月 【学習する上での留意点】 児童虐待が発生する「子ども環境の変化」についてまとめておくこと。
15. テーマ	児童家庭福祉の実施体制
	【学習の目標】 児童の健全育成について解説することができる。 【学習の内容】 福祉、教育、知育との連携による児童の健全育成について学ぶ。 【キーワード】 児童の健全育成、地域福祉、地域のネットワーク 【学習の課題】 児童家庭福祉の実施体制について述べなさい。 【参考文献】 1) 上田征三・岡本明博「施設等の運営管理の現状と課題」（第12章）「社会的養護と地域社会資源との連携」（第15章）『子ども支援の基礎から学ぶ社会的養護Ⅰ』大学図書出版、2019。 2) 日本発達障害福祉連盟『日本発達障害白書 2022 年版』 【学習する上での留意点】 児童福祉に関する社会資源について整理しておくこと。